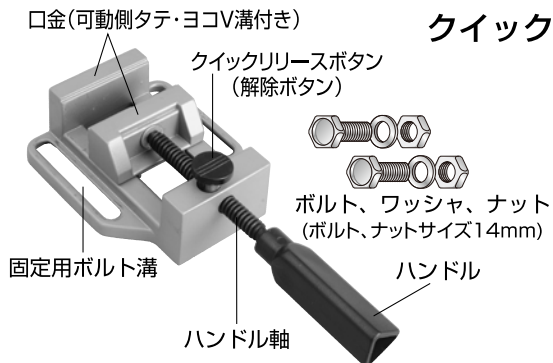


クイックバイスの使用方法

クイックバイスの各部名称と加工例



口の幅	約 67mm
口の開き	約 65mm
重量	約 500g



- 垂直型ドリルスタンドのベースX溝に、付属のボルト・ナットで固定し使用します。
- 穴あけ加工位置により、ボルトを緩めて正確に位置を合わせ、ボルトを14mmのスパナ、またはモンキーレンチ等で締めつけて、固定してください。(※ドリル刃・ドリルチャックがクイックバイスに当たらない位置に固定してください。)また、ドリル刃を下げきったときにドリル刃が、本体ベースを貫かない深さに調整し、本体可動部の高さに注意してください。
- 垂直型ドリルスタンドにクイックバイスを固定せず使用する場合、クイックバイスのハンドルをしっかりと手で保持し、安全に穴あけ加工してください。
- クイックリリースボタン(解除ボタン)を押すと、ハンドル軸が前後に移動します。加工物を口金にはさみ、解除ボタンを押して加工物にハンドルを押しつけて2~3回転ハンドルを右に回し、締めつけてください。
- 加工物を取りはずす時は、ハンドルを1~2回転左に回し、解除ボタンを押してハンドルを引いてください。
- パイプや丸棒などの加工物は、口金の可動側にある「V」溝に当てて、上記と同じ要領で締め付け、取りはずしを行ってください。
- クイックバイスは品番DSV-10として別売もしています。

使用上のご注意

- 電気ドリルの機種により、スピンドルカラー(首径)部がテーパー状になっている機種がありますが、テーパー状の機種には使用できません。ストレート状の機種のみ使用が可能です。十分ご注意ください。
- 電気ドリルの差し込み口周辺に、潤滑油など油が付着していないか十分確認してください。電気ドリルが脱落しやすく非常に危険です。
- 穴あけ作業は、無理な力で押さえ過ぎないで、軽く適度な力で作業してください。過度なトルクをかけ押し過ぎると、本体破損や電気ドリルが脱落して非常に危険です。
- ドリルスタンドのベース固定用ボルト穴(ボルト穴径φ10mm)を利用して、作業台などにしっかり固定してください。
- 加工素材を、クイックバイスなどでしっかり固定しますと作業能率がアップします。
- 電気ドリルや先端工具などの取扱説明書をよく読み、警告・注意などをよく守って安全に作業してください。
- 回転中のドリルや切削工具には、絶対に顔や手を触れないように十分ご注意ください。また、軍手の使用は回転部に巻き込まれる危険性があり、絶対に使用しないでください。
- 使用後のドリル刃や切りクズは、大変熱くなっています。素手で触れないようにご注意ください。
- 作業中は、必ず安全メガネ・防塵マスク・皮手袋などの安全具を使用し、使用後はよく手入れをし、子供の手の触れない場所に保管してください。
- 付属の5mm六角棒レンチを紛失したときは、別途お買い求めください。

部品のご入用、故障の場合、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い求めの販売店、または発売元にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元
株式会社 ミットモ製作所
兵庫県三木市別所町小林 657-75
●お問い合わせ TEL 0794-84-1630
午前10:00~12:00 午後1:00~5:00
受付時間 (土・日・祝祭日並びに当社休日を除く)
MADE IN CHINA



電気ドリル用

垂直型ドリルスタンド (クイックバイス付き)

商品コード25716 取扱説明書



この度は、電気ドリル用垂直型ドリルスタンドをお買い求め頂き、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書及び、電気ドリルなどの取扱説明書をよく読み、安全に正しくお使いください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

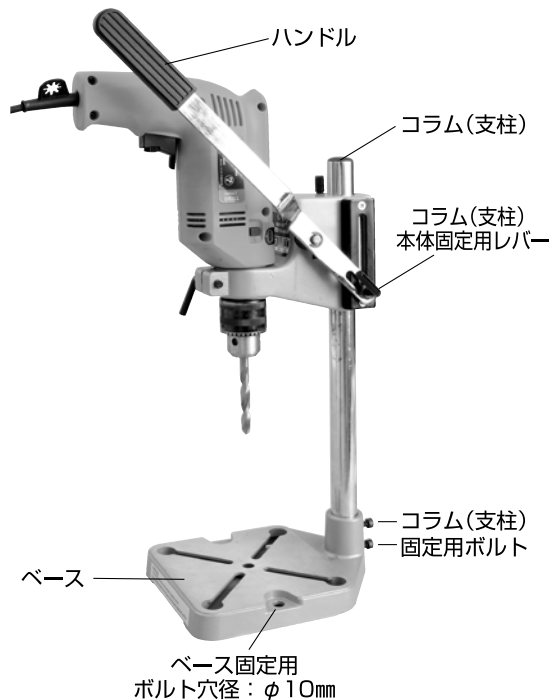


各部の名称と製品仕様

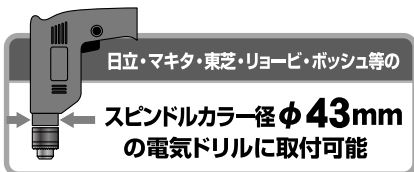


※注2: 上記写真のコラム(支柱)部分以外が「可動部本体」です。

垂直型ドリルスタンドの組立完成図



■取り付けできる電気ドリルは……



- 最大ストローク: 60mm
- コラムの高さ: 400mm
- 作業用ベース: 150×145×25mm
- ベース固定用ボルト穴径: $\phi 10\text{mm}$
- クイックバース最大口幅: 約65mm
- クイックバース固定用ボルト、ナットサイズ: 14mm
- 本体重量: 2.32kg (クイックバース含む)
- 付属品: 六角棒レンチ
 ドリルアタッチメント 大・小
 (スピンドルカラー $\phi 43\text{mm}$ 以下の場合にご使用ください。※注1)

主要部分の材質

- コラム(支柱): カーボン鋼
- ハンドル: PP樹脂
- 深さ調整軸: カーボン鋼
- バネ: スプリング鋼
- ベース・本体可動部: アルミダイカスト
- クイックバース: アルミダイカスト
- ハンドル(クイックバース部): PP樹脂
- ハンドル軸(クイックバース): カーボン鋼

※注1 取り付け方



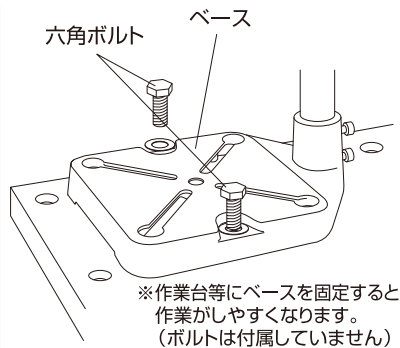
組立方法

■各部の名称をよくお読みになり、下記の要領に従って正確にしっかりと組立て、ご使用ください。万一商品に欠陥があるときは、使用をやめて取扱説明書裏面の住所、電話番号までお申しつけ、ご相談ください。

組立方法とご注意

- ①作業台等にベースを置き、両側の固定用ボルト穴に木ネジ、又は六角ボルトを差し込み固定します。(木ネジ、六角ボルトは付属していません。)
- ②ベースのコラム(支柱)差し込み穴に、コラム(支柱)をベース底より上の方向に「2~3mm」浮かして、コラム(支柱)固定用ボルト(×2)を付属の六角棒レンチでしっかり締めつけて固定してください。
- ③可動部本体(※注2)を、コラム(支柱)上部より差し込み、適当な位置でコラム(支柱)本体固定用レバーでしっかり締めつけてください。
- ④穴あけ目盛りを設定する時は、深さ調整軸を緩めるか、調整軸クイックボタンを押し込み、深さ調整軸を上下に動かしてください。必要な穴の深さに設定するには、0mmからハンドルを押し下げて、必要な目盛りの位置で深さ調整軸を固定してください。目盛りは0~60mmまで設定できます。
- ⑤組み上がったドリルスタンドを、平らな場所に置き安定性があるかよく確認してください。また、ハンドルを上下に可動させて、完全に組み上がったか十分確認してください。
- ⑥スピンドルカラー径(首径)が $\phi 43\text{mm}$ の電気ドリルを、電気ドリル差し込み口に奥までしっかり挿入し、電気ドリル固定レバーでしっかり締めつけてください。締めつけが緩いと、電気ドリルが脱落して非常に危険です。
- ⑦電気ドリルにドリル刃をセットし、ドリル刃がベースのセンターに必ず来るようにコラム(支柱)本体固定用レバーで調整し、しっかり締めつけてください。

■組立前に、各部の名称や部品をよく確かめ、順序に従ってしっかり組立て、注意事項などをよく守って安全にご使用ください。



■上記写真は、完成イメージです

別売品

■ホゾ穴(四角穴・長方形の穴)あけ

ドリルスタンドに別売品の角のみ用アダプターキットを取付け、角のみをセットしてホゾ穴をあけることができます。

品番	品名	サイズ
DSS-01	角のみ用アダプターキット	
DSS-10	角のみ	1/4" (6.4mm)
DSS-11	角のみ	5/16" (8.0mm)
DSS-12	角のみ	3/8" (9.5mm)
DSS-13	角のみ	1/2" (12.7mm)

